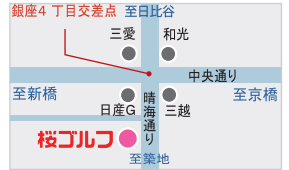


草分けとしての使命をー
株式会社 桜ゴルフ
東京都中央区銀座5-9-1 銀座コティビル3階
(銀座4丁目交差点より1分)

【お問い合わせは】

0120-83-5021
本社営業部 03-3572-8511
伊勢丹新宿店 03-3358-9181
<https://www.sakuragolf.co.jp>



今年の関東圏平均相場は1月から6月まで続伸し、年初からの値上がり率は5.5%にのびります。前年同期の3.8%を大きく上回り、昨年よりも更に活発な市場が年年初から展開しました。日経平均株価がバブル期の最高値を更新する明るいムードもあって、旺盛な買い需要が相場の底上げにつながっています。

昨年を上回る 今年上半期相場の伸び



暑中お見舞い申し上げます
佐川 八重子

24年上半期の価格帯別相場推移 (桜ゴルフ総研調べ)

価格帯	23年上期	24年上期						年初比
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	
1000万円以上	3.0	1.4	0.8	1.2	2.0	0.4	▲0.1	5.8
500万円以上	6.2	0.1	0.5	1.5	0.6	0.9	1.1	4.7
300万円以上	7.2	▲0.1	0.9	2.2	1.5	1.6	1.7	8.1
150万円以上	0.9	0.8	1.0	2.1	0.7	0.9	▲0.9	4.7
70万円以上	2.0	▲0.3	1.0	0.9	0.4	0.7	0.9	3.6
70万円未満	6.1	0.4	1.1	1.8	0.2	0.8	0.5	4.8
平均	3.8	0.8	0.8	1.4	1.4	0.7	0.4	5.5

単位：％、名変諸費用含む価格帯 (対象515コース)

山・東松山・大洗などの銘柄に買いが集まりました。また、総額1000万円以上も、接待の復調から活発化した法人入会が貢献し、+5.8%と平均を上回る高い伸びとなりました。

特に、小金井が割安感から大きな値上がり(+750万円)をみせた事が特徴的です。その他、よみうりG・相模原・レイクウッド・戸塚・桜ヶ丘・厚木国際なども、法人からの物色が目立ちました。

当社が受けた1～6月間の売りに対する買い注文の倍率は前年同期を上回る1.3倍に達しました。

個人・法人とも前年を上回る旺盛な買い姿勢を背景に、下半期も安定した市場が続くものと思われれます。

個人・法人とも買い旺盛、下期も安定した市場へ

～24年上半期相場のポイント～

- 年初から6か月続伸し半年で5.5%の値上がり
- 株価が最高値を更新した明るいムードも後押し
- 個人のクラスアップ需要が定着、中堅価格帯を牽引
- 法人接待が復調、高額名門コース需要が目立つ
- 個人・法人とも買い旺盛、下期も安定した市場へ

～地域帯別相場推移のポイント～

- 首都圏では東京・神奈川が高い上昇率。アクセスの良い名門・高額コースが多く、法人需要で人気
- 埼玉は入会条件の厳しさ等が相場上昇を抑える
- 山梨は唯一年初を下回る相場推移。プールの反動や諸費用軽減期間の終了による値下がり要因

『近場志向』が明確

関東圏の主要地区別相場は遠近立地の良否や人気銘柄の騰落が明暗を分けているのが大きな特徴です。

左下グラフを見ると1都8県で平均を上回っているのは東京・神奈川・群馬の3地区ですが、特殊事情の群馬を除くと、近場イメージのある東京と神奈川が群を抜いて高い上昇率となっています。

この2地区は都心からアクセスが良い名門・高額コースが多く、法人需要から大きく相場を伸ばし、地区全体の相場上昇を牽引しました。

一方、都心に近い茨城・埼玉・千葉は伸び悩みが目立ちます。特に、埼玉は入会条件の厳しさや法人の入会条件緩和の遅

れが相場上昇を抑えています。ただし、山梨を除く地区では中堅価格帯の上昇が大きかったため、全体ではプラスを保ちました。

唯一、山梨は年初を下回る状態に甘んじています。これまでリゾートコースブームで高い伸びをみせてきましたが、諸費用軽減キャンペーンが終了した銘柄の相場反動減や、値上がり過ぎの銘柄が一服した事が地区全体の伸びを抑えました。

★遠隔イメージのある群馬は、額面保証している大手資本の下仁田(東武鉄道)・軽井沢高原(大成建設)の値上がりが相場を支えました。

24年上半期 関東圏主要地区の相場指数推移 (24年初=100)

